

会社概要

Corporate Profile

銀一株式会社

● 会社名	銀一株式会社 (GIN-ICHI CORPORATION)	東京都中央区銀座3丁目11番14号	URL http://www.ginichi.co.jp
● 所在地	○ スタジオ機材営業部スタジオショップ (デジタルカメラ、中古カメラ、画像関連処理機材の販売およびアフターサービス、スタジオ機材、照明機材、写真暗室用品、背景紙など撮影用機材の販売及びレンタル) 〒104-0052 東京都中央区月島1丁目14番9号 電話：03-5548-5131 ファクシミリ：03-5548-5135		
	○ スタジオ機材営業部 E・コマース課 (オンラインショップの運営・企画) 〒104-0052 東京都中央区月島1丁目14番9号 電話：03-3536-5800 ファクシミリ：03-5548-5612		
	○ 映像機材営業部 (レンタルスタジオ、学校法人営業、プロ用カメラ、デジタルカメラ及びストロボレンタル、大型インクジェット、ドライマウント機材の全国卸販売) 〒104-0052 東京都中央区月島1丁目14番9号 電話：03-5548-5640 ファクシミリ：03-5548-5134		
	○ 海外商品部 (輸出入業務及び、輸入品の全国卸販売) 〒104-0061 東京都中央区銀座3丁目11番14号ルート銀座ビル 電話：03-5550-5036 ファクシミリ：03-3541-2445		
	○ クランブラーギンザ (クランブラーの輸入直営店) 〒104-0061 東京都中央区銀座1丁目6番11号土志田ビル1階 電話：03-6715-7340 ファクシミリ：03-3564-1213		
	○ 物流管理部 (商品の受発注、入出荷在庫管理全般) 〒104-0052 東京都中央区月島1丁目14番9号 電話：03-5548-5611 ファクシミリ：03-5548-5612		
	○ 本社 管理本部 (総務・経理・システム開発室) 〒104-0061 東京都中央区銀座3丁目11番14号ルート銀座ビル 電話：03-3541-6636 ファクシミリ：03-3541-2459		
● 設 立	昭和35年4月5日 (創業 昭和31年8月)		
● 資本金	18,000,000 円		
● 従業員	62 名		
● 役 員	代表取締役	丹 羽 寿 成	
	取締役	小 川 英 智	
● 事業内容	映像機材 (写真、動画、ビデオ、映画) の輸入及び販売、映像機材のレンタル、大型インクジェットプリンタ、ドライマウントラミネート機材及びディスプレイ関連機材の輸入及び販売。 撮影スタジオ及び暗室の設計・施工、アップルコンピュータによるデジタル撮影及び DTP システムの販売。 ○ 米国ファルコン社 (ジェットダスター製品) 輸入元・総発売元 ○ 米国セットワークス社 (スタジオサプライ製品) 輸入元・総発売元 ○ 米国ティップフェン社 (写真、動画、ビデオ機材) 輸入元・総発売元 ○ 米国ローウェル社 (照明機材) 輸入元・総発売元 ○ 米国シンクタンクフォト社 (カメラケース製品) 輸入元・総発売元 ○ 豪 クランブラー社 (メッセンジャーバッグ及びカメラバッグ製品) 輸入元・総発売元 ○ 仏国パノディア社 (プレゼンテーションケース及びアルバム) 輸入元・発売元 ○ オランダ・シール社 (ラミネート関連製品) 輸入元・総発売元 ○ ハイクラスアマチュアコレクター用カメラの輸入・販売、セットペーパー、フォトグラ、ポートフォリオ等の総発売元 ○ ニコン、キヤノン、ハッセルブラッド、ライカ、シナー、プロフォト、バルカー、富士フィルム、コダック他、各種カメラ、ストロボ、各種感材等特約店、アップル Mac 他各社 PC 及関連機材取扱、積水化成工業株式会社代理店		

● 主な取引先	朝日新聞社、読売広告社、電通、世界文化社、扶桑社、小学館、婦人画報社、日本航空、サントリー、NHK エンタープライズ、日経 BP 社、花王、松屋、ソニー、日本デザインセンター、伊東屋、紀伊國屋、横浜美術館、東京都写真美術館、東京大学、日本大学、東京造形大学、筑波大学、東京芸術大学、東京工芸大学、日本写真芸術専門学校 他写真学校、ヨドバシカメラ、カメラのキタムラ、ナニワ商会、ビックカメラ、浅沼商会、ビームス、アシストオン、スタジオエビス、代官山スタジオ、スタジオフォボス、六本木スタジオ、他 レンタルスタジオ数十社 三好和義氏、白川義員氏、篠山紀信氏、立木義浩氏、渡辺達生氏、中村征夫氏、他 写真家多数 きもと、Too、東京リスマチック、東京メディアサービス、東急ハンズ、佐川印刷、ローヤルカラー		
● 主な仕入先	米国ティップフェン社、米国セットワークス社、米国シンクタンク社、米国オプテック社、米国ローウェル社、オランダシール社、英国ラストライト社、豪クランブラー社、独国ネッセン社、ニコン、キヤノン、富士フィルムイメージング、コダック、DNP フォトマーケティング、積水化成工業、浅沼商会、ダイワボウ情報システム、日本 GBC、リントック、セイコー SII、ローランド DG、シュリロトレーディング、他 約 300 社		
● 主な取引金融機関	三菱東京 UFJ 銀行・・・銀座支店	みずほ銀行・・・銀座支店	商工組合中央金庫・・・本店
	北陸銀行・・・東京支店	三井住友銀行・・・京橋支店	西京信用金庫・・・銀座支店
● 沿 革	昭和31年 8月 東京都港区新橋でカメラ機材の販売創業 昭和33年 4月 銀座1丁目に移転、屋号を「銀一カメラサービス」と定め、プロ用写真機材の専門店としてスタート 昭和35年 4月 株式会社に組織変更、丹羽壽彦 代表取締役就任 昭和44年 9月 レンタル部門を独立、株式会社ライクを設立 昭和46年 6月 ドライマウント部門を独立、株式会社ギンイチを設立 昭和47年 12月 ハイクラスアマチュアの店「コ・コ」を出店、アマチュアコレクションカメラを取り扱う 昭和48年 1月 貿易部門を置き、米国、ドイツ、英国と取引開始 昭和48年 9月 商品センターを港区海岸に設置 昭和53年 3月 レンタルスタジオへの機材納入と設計、施工を開始 昭和58年 7月 米国セットワークス社との合併会社、セットワークスジャパン株式会社を中央区入船に設立 昭和59年 9月 資本金を900万円に増資 昭和60年 8月 セットワークスジャパン株式会社 資本金を7,500万円に増資 昭和62年 11月 本社業務を中央区銀座4丁目の自社ビルへ移転 昭和63年 2月 海外商品部を新設 輸入販売代理店として各種照明機材、写真用品の卸販売を本格化 昭和63年 4月 新社名「銀一株式会社」に商号変更 平成元年 9月 資本金を1,800万円に増資 平成3年 12月 プロ用品ショップとカメラ、レンズショップ合併「フォトショップ」としてオープン 平成11年 1月 合併会社、セットワークスジャパン株式会社を中央区月島に移転リニューアルオープン 平成11年 2月 商品センターを大田区平和島より中央区月島に移転、物流管理部を新設。 平成13年 5月 デジタルフォトショップをフォトショップ1Fに移転、デジタルシステムの本格化に対応 平成14年 8月 子会社 株式会社ギンイチを吸収合併、グラフィックス営業部として事業全面継承 平成18年 6月 本社を中央区銀座3丁目の自社ビルに移転 平成19年 3月 セットワークスジャパン株式会社を吸収統合し、スタジオ機材部 (スタジオショップ) として事業全面継承 平成19年 4月 丹羽壽成 代表取締役就任 平成19年 9月 営業課及びレンタルとフォトショップの写真用品類、ストロボ関連品を月島スタジオショップに移転リニューアルオープン 平成19年 9月 フォトショップをデジタルカメラ・中古カメラ・画像関連処理機材の販売及びアフターサービスの専門店として、銀座土志田ビル B1F にリニューアルオープン 平成19年 11月 クランブラーの輸入直営店「クランブラーギンザ」を銀座一丁目に出店 平成21年 5月 銀座店 (フォトショップ) を月島店 (スタジオショップ) に統合し「銀一スタジオショップ」として、顧客ニーズにマッチした「ワン・ストップ・ショップ」を実現		
● 加盟団体	東京写真材料商業協同組合	輸入カメラ協力会 (ICS) 会員	日本映像美術協議会 (JVA) 会員
	日本カメラレンタル協会会員	日本写真映像用品工業会	